

決算等審査 特別委員会

委員長 小山 勇朗
副委員長 高橋 卓誠

本委員会は、議会選出の監査委員を除く全議員で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内、分科会および全体会において一問一答形式で質疑を行います。
委員会は、9月20日から8日間開催され、延べ93人の委員が約48時間にわたり審査を行いました。
主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党

猪又 隆広 委員
デジタル人材の確保と育成
防災環境都市仙台ブランド化
LINEでの防災情報発信とSNSを活用した情報収集
市老人クラブ連合会への積極的な加入の促進勧奨を
報告を書面からデジタルへ
認可外保育施設の運営状況
災害用備蓄品の確認による
食品ロス削減など子どもの学び
せんだい食品ロス・ダイアリーの活用で食品ロスゼロへ
せんだい旅日和での観光客に分かりやすい防災情報発信
秋保地区の今後の観光振興
人口減少を見据えた地域交通
メカソーラーの林野火災によるリスクと消防対応を問う
山間部の狭い地形等に加入感電の恐れもあり消火活動が難しい。適切に対応する。
4病院再編と救急搬送体制
教育格差解消へ、保護者の教育意識が向上する機会の確保
海外留学支援奨学金の継続と対象者の拡大を。
引き続き事業を実施し、選考基準の見直しを検討する。
音楽ホールの構成や整備方針は専門的知見の下、議論が専門の委員を交えて議論いただく。
アーツカウンシル立ち上げを

菅原 正和 委員

交通指導隊の新人訓練用DVDを制作すべき。
作成の在り方等検討する。
学生交通指導隊の結成を。
年齢要件引き下げ効果を。
見極めつつ関係者の意見を伺う。
交通指導隊員について
・自転車用ヘルメット義務化
・制服着用期間の見直し
橋本 啓一 委員
青葉山公園の整備は、未来に継承していく貴重な資産を守る覚悟で取り組むべき
青葉山エリアのにぎわいと本市全体の回遊性の向上
追廻地区における国の本市への国有地無償貸し付けと本市の住民への移転補償との関係
今後の災害に対応できる仙台城跡周辺エリアの安全対策

佐藤 正昭 委員

手続きの簡素化
学校や町内会への周知広報
各区役所庁舎の建て替えや改修は、市民や事業者、現場職員の意見を工事内容に反映し、区役所だけでなく各局も連携して取り組むべき
工事中の区役所窓口への配慮
青葉山公園の整備は、未来に継承していく貴重な資産を守る覚悟で取り組むべき
青葉山エリアのにぎわいと本市全体の回遊性の向上
追廻地区における国の本市への国有地無償貸し付けと本市の住民への移転補償との関係
今後の災害に対応できる仙台城跡周辺エリアの安全対策



杜の都のシンボルである青葉山公園

市民フォーラム仙台

市民後見人の受任拡大に
向けて家庭裁判所に働き掛けを
受任拡大に向け、関係機関と協議を重ねる。
5歳児のびのび発達相談事業では保育所等との連携を
仙台すくすくサポート事業における利用会員登録の簡素化
放置自転車対策は撤去回数等の見直しで経費削減すべし
コロナ禍での自死増加対策
おおよそ高齢者の認知症、フレイルに対する予防施策を
市立病院の健全経営に向け、精神科病床の稼働率向上を
行政需要の多増に伴う職員超過勤務の増加に関し、増員等の適切な定員管理を

小野寺 健 委員

就業水河期世代は必ずと浮上りてくることが懸念されている。
就職支援や職業訓練、住宅対策であったり親の介護の問題がある中で市は一人一人に思いを寄せ、寄り添っていくこと。スピード感を持ち対応することを求める。
奨学金返還支援制度は3年間だけでなく恒久化を求めて
教職員の多忙化解消に向けて、人員配置の在り方検討を
運動部活動の地域移行では、子どもたちの人間関係に対応できる顧問等との連携を
ガス事業民営化は、他のエネルギー事業者の置かれてる現状を踏まえた対応を
スポーツ施設稼働の平準化に向け中体連への働き掛けで中総体等各種大会を平日開催に
街区公園の維持管理は、公園愛護協力会のような地域団体等の協力を得るだけでは限界がある。関係部署と連携し周辺道路の修繕も含めた整備を。
指定避難所の備蓄は屋



屋外の防災備蓄倉庫を拡充して防災備蓄の環境整備を

渡辺 博 委員

学校の施設内を活用した児童クラブ事業実施等も含め、方針について課題を整理したい。
坪沼地区の住宅建築の可能性
学校統合とまちづくりの支援
馬場小と秋保小の統合
街路樹剪定枝のリサイクル
仙台らしい都市像づくりでは市民不在とならない進め方を
「社会を明るくする運動」の関係部署の連携の重要性
国防における本市の役割と国民保護法に基づき取り組み
全ての政策の根拠は危機管理に
孤立社会への本市の対応

公明党

まちづくり政策局
ポイントカードやマイナビオン申請の支援体制強化
健康福祉局
将監複合化施設設市民交流スペース運営に財政的支援を
3年間をめぐりした補助を行う方向で協議している。
HPVワクチンの広域接種と9価ワクチン接種の助成を
民間団体と連携したキャンパス依存症対策強化と予防教育
糖尿病性腎症の重症化予防
〈子供未来局〉
生田小学校区児童数急増に対し、児童館建設まで学校敷地内へのプレハブ建設の検討を
〈市民局〉
電子回覧板など、町内会活動でのICT利活用を。
負担が少なく活動に参加

教育局

できる仕組みづくりに取り組む
小学校の水泳授業の民間事業者への委託について、所感と今後の取り組みを伺う。
専門的な指導者による授業は有意義である一方で、移動時間等の課題もあり、引き続き学校の考えも確認し検討する。
通学路の危険箇所等合同点検
児童生徒の安全確保のためSPS認証の取得検討を
通学路の安全対策の推進を
〈環境局〉
みやぎ環境税の対象事業拡充と財源を含む事業の移管を
〈経済局〉
危険性が高いため池の確認と救助ネットの設置を。
状況把握の上で危険性等を見極め、設置等を検討する。
大学・企業と連携した地方創生推進事業の学生への周知徹底と今後の取り組みを伺う

市民フォーラム仙台

地元大学等と連携した周知広報の強化により、多くの参加を促し、学生のキャリア形成や地元定着の促進に取り組む。
農水産業の風評被害対策
会場使用料の減免や助成の再実施と文化芸術活動支援強化
〈都市整備局〉
市営バス事業収支改善に資する地域交通のさらなる推進
〈若林区〉
南仙台駅を中心とした中田地域が本市の南側玄関口であるとの認識と活性化促進を伺う。
広域的に多くの方々を利用する重要な駅であるとの認識としており、引き続きJR東日本と利便性向上の方策等を検討する

日本共産党

男性トイレへの汚物入れ設置
女性のデジタル人材育成を
アーチルの相談待機期間短縮
特別支援保育事業の拡大
レスパイト事業の環境整備
普通教室不足への対応
小規模保育事業継続への対策
不登校対策と不登校特別校S・K・E・Tの取り組み推進
〈全体会〉
南仙台駅を中心とした中田地域が本市の南側玄関口であるとの認識と活性化促進を伺う。
広域的に多くの方々を利用する重要な駅であるとの認識としており、引き続きJR東日本と利便性向上の方策等を検討する

社民フォーラム

審議会等の女性委員登用率40%達成への取り組みを伺う。
選挙事前協議の継続を。
見直し、実効性向上に努める。
大学ゼミ等と市の協働や連携
荒巻学校給食センターの改修
生活習慣や食習慣の好循環を生む学校の役割の再確認
石川 建治 委員
都市計画道路整備の見直し
生活道路の安全確保対策
泉区役所建替事業に伴う周辺交通環境の具体的な改善策
校則見直しでは男女同じ扱いとなるよう生徒の意見反映を
生徒の自立をサポートする主権者教育の展開を

市民と未来のために

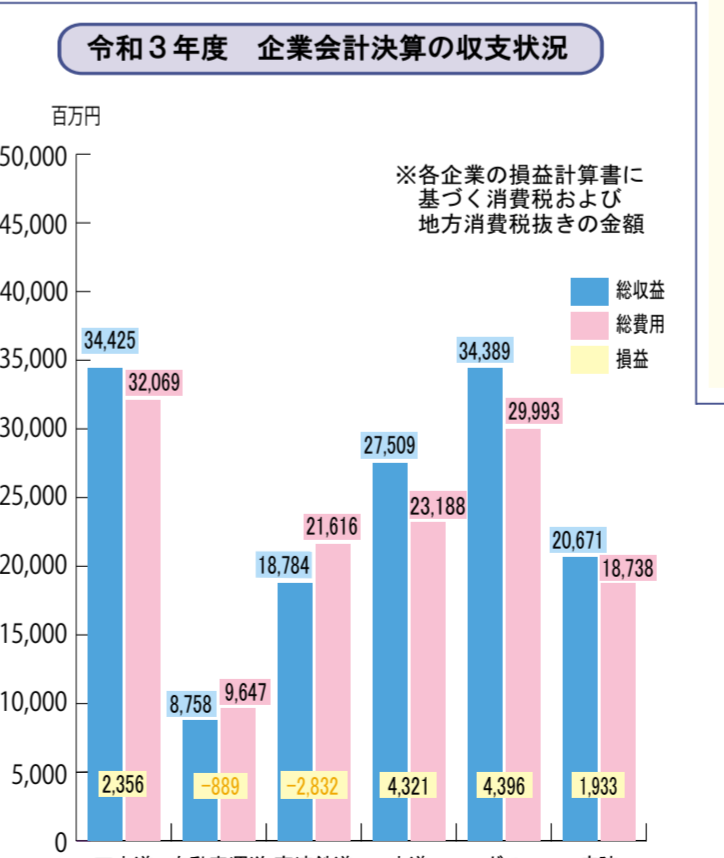
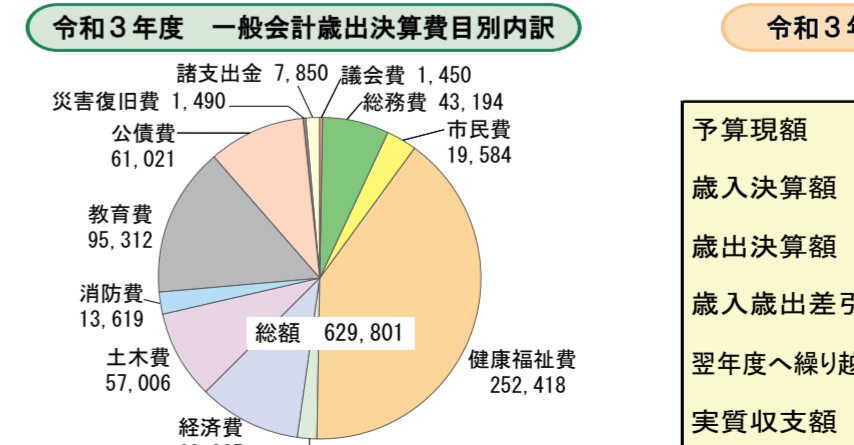
教諭が生徒に「人間の足の動きではない」と発言した不適切指導事案の再調査を求め、再調査を希望する。
当該教諭の懲戒処分に関する必要調査は既に完了しているものと考えており、再調査は実施しない。現在、再発防止に向けた検証を開始しており、この中で必要に応じて関係者に改めて確認する。

令和3年度 特別会計決算の収支状況

Table with 4 columns: 会計名, 歳入, 歳出, 差引額. Total revenue 312,876, total expenditure 308,611, surplus 4,265.

令和4年第4回定例会は、12月7日(水)開会予定です。

令和3年度 一般会計決算の収支状況
Table with 2 columns: 項目, 金額. Total revenue 695,510, total expenditure 629,801, surplus 10,116.



せんだい自民党
田村 勝 委員
田子排水機場へ回転灯と非常用電源の設置を求める。
回転灯は今年度中に設置予定である。非常用電源は整備に向けた検討を進める。
中野塚廃止に伴う水路管理
本市独自の交通安全対策を
村岡 貴子 委員
子どもアドボカイトの派遣先を拡大し、子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。

子どもアドボカイトの派遣先を拡大し、子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。

子どもアドボカイトの派遣先を拡大し、子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。

子どもアドボカイトの派遣先を拡大し、子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。

子どもアドボカイトの派遣先を拡大し、子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。

子どもアドボカイトの派遣先を拡大し、子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。

子どもアドボカイトの派遣先を拡大し、子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。

子どもアドボカイトの派遣先を拡大し、子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。
子どもを支援する。